

託児保育サービスについて

託児保育サービスをご利用の方は、事前に予約をお願いします。
サービス水準確保のため、ご利用できる人数には限りがございますので、ご了承ください。

対象年齢 生後6か月から未就学児（6歳）までの乳幼児

申込先 東京都建設局河川部計画課 電話番号 03-5320-5414

E-mail S0000384@section.metro.tokyo.jp

受付時間 10:00～17:00（土日祝を除く）

申込期限 本案内状の受取日から8月29日（木）まで

（お申込み時に、「善福寺川上流調節池（仮称）説明で託児保育サービスの利用を希望する」旨をお伝えください。）

説明資料等の公開

本調節池に関するこれまでの説明資料等について、インターネット上で公開しておりますので、下記のとおりご案内いたします。また、全日程が終了後、説明資料等についてインターネット上で公開します。

- 令和5年12月1日及び2日に開催したオープンハウス形式による説明でのパネル資料および頂いたご意見および都の考え方について掲載しております。

[東京都第三建設事務所ホームページ URL]

: <https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/daisan0068.html>



- 令和6年1月20日に杉並区役所で開催した説明会での配布資料について掲載しております。

[東京都建設局ホームページ（中小河川の整備）URL]

: <https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/kasenbu0277.html>



- 本説明で提示したパネル資料（配布資料と同様）について掲載していく予定です。

[東京都第三建設事務所ホームページ URL]

: <https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/daisan0069.html>



【問い合わせ先】

事業計画に関すること 東京都建設局河川部計画課
中小河川担当 大工原、星野
電話（直通）03-5320-5414

河川工事に関すること 東京都第三建設事務所工事第二課
善福寺川上流調節池整備担当 芦田、丹羽
電話（直通）03-3387-5149

測量に関すること 東京都第三建設事務所工事第二課
測量担当 清水、中川
電話（直通）03-3387-5372

区の実施に関すること 杉並区都市整備部土木計画課
土木調整グループ 中村、湯川
電話（代表）03-3312-2111

東京都からのお知らせ

令和6年8月吉日

善福寺川上流調節池（仮称）に関する説明のご案内について

日頃より東京都の都市計画事業にご協力を賜り、ありがとうございます。

このたびは、台風や集中豪雨による水害から都民の命と暮らしを守るためトンネル式の地下調節池の整備を善福寺川で計画しています。

つきましては、本調節池に関する内容をオープンハウス形式[®]にてご説明いたします。

位置図



※オープンハウス形式について

説明内容を記載したパネルを会場に展示して、東京都の担当職員が個別で事業内容の説明やご質問等に対して回答させていただくとともに、ご意見を伺う形式となります。

本形式は来場された皆様と対話することが可能な形式となります。また、開催期間中のご都合の良い時間にお越しいただけます。

[オープンハウス形式の例]



会場案内

第1回説明

日時 令和6年9月5日(木)
17:00~20:00

場所 コミュニティふらっと成田
多目的室
(杉並区成田西1-28-18)



第2回説明

日時 令和6年9月6日(金)
17:00~20:00

場所 荻窪地域区民センター
第1・2集会室
(杉並区荻窪2-34-20)



第3回説明

日時 令和6年9月8日(日)
13:00~17:00

場所 桃井第一小学校
体育館
(杉並区桃井2-6-1)



説明内容について

本説明では、善福寺川上流調節池(仮称)に関する事業概要や、現在の設計における検討状況(事業工程や施工方法および施工ヤードなど)およびこれまでの説明会等いただいたご意見に対する検討状況についてご説明いたします。

なお、本事業で土地を取得させていただく箇所や、トンネルが地下を通過する可能性がある箇所において、土地の面積を求めるため周辺の土地との境界を確認する用地測量の一般的な事項についてもご説明いたします。

善福寺川上流調節池(仮称)計画概要

本調節池は、都道である五日市街道、環状八号線、青梅街道、女子大通りおよび善福寺川の地下約40mの深さに、延長約5.8km、内径9m程度の地下調節池(トンネル式)を整備して、約30万 m^3 の洪水を貯留するものです。

本調節池は、令和5年3月に改定された「神田川流域河川整備計画」に基づく、時間最大75mmの降雨に対応するための調節池の一つです。

【調節池の整備効果】

①取水イメージ



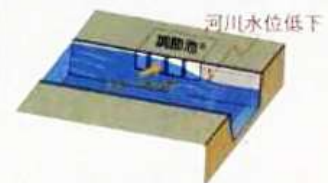
河川水位が上昇した際に取水

②調節池(本体)イメージ



取水施設から取り込んだ水を貯留

③下流河川イメージ



水位を低下させ浸水被害を防ぐ

調節池の効果および映像に関して、「東京動画」に公開しております。
地下トンネル内をドローンで撮影するなど、普段見ることができない貴重な映像となっております。



東京動画はこちら
<https://tokyodouga.jp/fig5gcoery0.html>

東京動画



※ 会場には駐車場、駐輪場がありません。車、バイク、自転車等でのご来場はお控え下さい。
※ 3日間における説明資料は同じです。
※ 多くの皆様にご参加いただくために、複数回のご参加はご遠慮ください。
※ 全日程が終了後、説明資料はインターネットで公開します。
※ 開場時間より前にお越しいただいても会場には入ることができません。
※ 各会場で入場できる人数に限りがございます。
※ 定員に達した場合は、入場を制限させていただく場合がございます。
※ 悪天候の場合には説明を中止する可能性がございます。
※ 説明状況の記録のため、個人情報保護法に遵守して、写真や動画を撮影することを予めご了承ください。